

おいしさ、そして、いのちへ。  
Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO®



※料理・食器は参考資料をもとに再現したイメージです。

# 偉人の食卓

The recipe made him  
a great man.

# ダ・ヴィンチ

うなぎに微笑。

「モナ・リザ」をはじめレオナルド・ダ・ヴィンチの作品には謎が多いことで有名だが、「最後の晩餐」もそのひとつだろう。

皿上の料理は今まで

仔羊の肉やパンといわれていたが、

実はうなぎのオレンジスライス添えてはないかという説が現れ、多くの識者を驚かせた。

なぜダ・ヴィンチは時代設定を無視してまで、

イエスと使徒の食卓にうなぎを描いたのか。

一説によると、うなぎはダ・ヴィンチの好物だったとされる。

日本では滋養強壯の定番だが、

フライなどは当時のヨーロッパでも食されていた。

数学、解剖学から、機械工学、建築など、

膨大な知識を誇った「万能の天才」が、

そのすぐれた栄養価に

目をつけていたとしても不思議ではない。

ダ・ヴィンチ自身の手稿によれば、

ふだんの食生活は、魚、子牛、野菜、パン、チーズなど、

宮廷暮らしにしては簡素だった。

ここぞというとき、高たんぱくて、ビタミン、

ミネラル豊富なうなぎを食べ、

旺盛な創造力の源としていたのかもしれない。

もしもダ・ヴィンチが、タレのしたたる

日本の蒲焼を目にしたら、どんな顔をするだろう。



Leonardo da Vinci

食は人をつくる。

